

(2) 総合評価シート

指定管理者制度導入施設の管理運営状況総合評価シート（令和7年度）

施設名	吹田市立千里山竹園児童センター	所管部室課名	児童部 子育て政策室
所在地	吹田市千里山竹園2丁目1番5号	設置年月日	平成21年10月

1 施設の概要

(1)設置目的	児童が安心して遊び、過ごすことができる居場所を提供することにより、児童の心身の健やかな成長、発達及びその自立を支援することを目的とする。		
(2)規模、開館日等	【規模】 (構造) 鉄筋コンクリート造2階建 (敷地面積) 969.07㎡ (建築面積) 343.12㎡ (床面積) 1階 319.32㎡ 2階 206.20㎡	【開館日等】 (開館日) 毎日開館(5/3～5/5及び年末年始を除く) (開館時間) 10時～18時	

2 指定管理者の概要

(1)指定管理者	アクティオ株式会社					
(2)指定期間	令和7年4月1日～令和12年3月31日（5年間）					
(3)選定方法	公募					
(4)指定管理者が行う業務内容	1 子どもの健全育成及び地域の子育て家庭への支援に関する業務 2 施設の管理運営に関する業務 3 施設の維持管理に関する業務 4 経営管理に関する業務 5 その他					
(5)指定管理者の収支			令和6年度		令和7年度	
			計画	実施結果	計画	実施結果
	収入	指定管理料又は利用料金 (円)	25,940,000	25,940,000	37,968,800	37,842,800
		自主事業 (円)	0	0	0	0
		その他 (円)	0	0	0	0
	支出	管理経費 (円)	25,940,000	25,523,875	37,968,800	36,973,474
		自主事業 (円)	0	0	0	0
		その他 (円)	0	0	0	0
	収支差額 (円)		0	416,125	0	869,326

3 成果指標（活動指標）

成果指標（活動指標）		令和6年度		令和7年度	
		計画	実施結果	計画	実施結果
1	メイン行事参加者数	1,500	1,690	1,500	1,312
2	センターまつり参加者数	320	546	320	429
3	幼児教室参加者数	750	793	750	534
4	月間・週間行事参加者数	3,500	4,656	3,500	4,873
5	年間来館者数	22,000	29,107	22,000	25,271
6					
7					
8					

4 利用者ニーズの把握状況

(1)把握方法	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケートの実施（実施期間：令和7年10月1日～令和7年11月30日/回答者数：児童向け75名/大人向け83名） ・常設の意見箱、こども会議の実施による意見の把握
(2)把握結果	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の接遇については、肯定的な回答がほとんどであった。 ・幼児教室やイベント等、利用者満足度はかなり高いものであった。 ・図書やあそびに関して多数の要望があった。
(3)結果を受けての対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・あそびによって参加者が少ない場合があるため、児童にとって「魅力あるあそび」という観点で検討が必要。児童の要望したあそびを実現できるよう努める。 ・引き続きこども会議や意見箱等を通じて児童のニーズに応えられるよう努める。あわせて、こども会議等の認知度向上のため、館内ポスターや職員からの声掛けを行い、周知を図る。

5 管理運営状況に対する評価

項目	評価
(1)市民の平等な利用の確保	<ol style="list-style-type: none"> 1 管理運営の方針については、事業計画書に記載されている事項を遵守されていた。 2 平等利用の確保については、利用者の公平性が確保されていた。 3 個人情報の保護については、制定している「個人情報取扱規程」及び「特定個人情報等取扱規程」や吹田市個人情報保護条例を遵守することにより個人情報の保護の徹底に努めていた。
(2)施設の効用の発揮	利用者アンケートでは各年代に応じたアンケート用紙を作成し、適切に利用者意見を把握されていた。また、こども会議等を通じて児童の意見を聴取し、児童が安心して過ごせる居場所づくりに努めていた。
(3)管理を安定して行う人員、資産その他の経営規模及び能力	館長、主任児童厚生員、児童厚生員を配置し、安定した管理運営体制を構築している。また、職員向けの研修を随時実施しており、児童の支援に関する研修を重点的に行っている。
(4)施設の管理経費の縮減	こまめな消灯や空調温度の調整による光熱費の削減に取り組んでいる。また、裏紙利用による消耗品費の削減の努力もなされている。
(6)総合評価	管理運営体制、管理運営内容共に基本協定書や募集要項、事業計画書等に基づいて実施していることを確認し、改善を要する指摘事項は無い。加えて、施設の管理運営に係る経営状況が健全であると確認できたことから、今後において、安定した管理運営が可能であると判断する。また、こども会議、利用者へのアンケートを実施して、利用者の意見を丁寧に聞いて運営し、施設の設置目的の達成に向けて努力しており、高い利用者満足度に繋がっている。